

- 1、電柱のなき街並や風光ひかる
- 2、空染める桜さくらやドローン舞ふ
- 3、竹の子を包む郷土の新聞紙つつ きょうど しんぶんし
- 4、早雲の愛でし城下やつばめ来るせううん め
- 5、竹の春新道なつて商栄さかえ
- 6、花みず木ほのかに匂う散歩道
- 7、朝もやにけむるバス停竹の花
- 8、鈴懸の落葉舞い散る石だたみ
- 9、竹の花老舗をまもる商店街
- 10、宵の灯に光る子らの瞳金魚かなよじ ん ぐ
- 11、入梅や磨くタンスの匠の手
- 12、山笑い竹の花では人笑う
- 13、春うらら商人の話に花咲かせあきんど
- 14、客足のぐいとひと伸び今年竹
- 15、銀輪で巡る通りや赤つゝじ
- 16、せせらぎに背緒光るや花祭
- 17、庭見つつ揺り椅子揺らし簀戸の風あさかげ
- 18、朝光の竹の葉擦れや花菜飯は す
- 19、祭笛酔をうって飯光りけり
- 20、薔薇の咲く誰かを待っているようなば り

- 21、 青空や天守輝く山笑ふ
- 22、 街路樹の根づきし通り風光る
- 23、 鉋涼し小から順に並べあり
- 24、 父の日や朝の光のアーケード
- 25、 初夏やショーウィンドーに花模様
- 26、 届きし二本掘たての竹のこよ
- 27、 登校の児らの黄の傘梅雨はじく
- 28、 花ひかる志望校への一步へと
- 29、 夏きざす玄関敷きの黄を青へ
- 30、 「たけのこめし 筍飯おかわり！」とようろう 養老の父
- 31、 店みせのさき笑えみさへ見みせてさく堇すみれ
- 32、 新緑あたらしくやきらりと光揺らしをり
- 33、 街中まちなかに神のお出まし夏祭
- 34、 竹の皮一つ脱ぎ捨て節かさね
- 35、 更衣ころもがえ風を着るごと軽やかに
- 36、 光射す竹林ちくりんの朝姫索す
- 37、 燕つばき来てイバラいなばらの蕾風清か
- 38、 光さす店たなの構えや竹煮草
- 39、 曾我梅林雪見障子の残る家
- 40、 絵心やコップに土筆二三本

41、節たどり仰げば清し今年竹すが

42、葭蕒よしずごしなつこき店主城の町

43、球児らの花の坂道ダツシユする

44、我勝ちにさへづる雀春うらら

45、桐ダンス親から子へと幸せに

46、竹槍で戦せず終え今ある幸こへく

47、竹藪や根元は確か地震怖れず

48、竹落葉階段のぼり羅漢さま

49、いく年を竹の花さき枯れ果てる

50、濠の角散る気満々桜花かど

51、鉢植えの紫陽花そろりと移しけり

52、薫風やゆかしき呼び名「竹の花」

53、夏燕商店街を小気味よくあはつ

54、甲州みち逃げ水光り時空揺らぐて

55、広小路や古絵図あおいでイワシ雲

56、野の花を摘める竹籠夏きざす

57、夏の夜や散歩の下駄の音高し

58、竹皮に包む梅干幼き日

59、竹の子の自転車の籠はみ出せる

60、山笑ふ光耀う竹の花

- 61、 店頭かたに光いをうけてすみれ草はざくら したひ ひかり
- 62、 語り居えんがわ つまの葉桜しの下陽ひの光ひかり
- 63、 縁側えんがわに夫つまを偲しのびて一夜酒ひとよざけ
- 64、 稲光いなひかりつかの間まみせし般若顔はんにゃがほ
- 65、 打水たきみづや三代さんだいつづく紺こんのれん
- 66、 梅香うめかほる五郎十郎ごろうじゅうろう覚醒かくせいす
- 67、 夜桜よざくらや紫紺むらさきこんの天守てんしゅ浮うき聳そびゆ
- 68、 北条きたじょうの往時むかし引き寄せよせ花明はなあきり
- 69、 青々と燃もゆる細胞さいぼう春はるの山やま
- 70、 山塊やまがたの遅咲おそひきき桜さくら乙女おんな美うつくし
- 71、 光混ひかりまじぜ轟音とどろき見事みごと男滝おとだきかな
- 72、 風薫かぜかほる昔話むかしの街歩まちあき
- 73、 若葉わかしづ風衣かぜぎ替かえの竹葉たけはふぶき
- 74、 春光はるひかりや浴ゆびて散策さんさく竹たけの花はな
- 75、 北条きたじょう早雲はやぐも称なづふ旅人たびとや額がくの花はな
- 76、 検番けんぱんの軒のきに垂したるる柳やなぎかな
- 77、 神輿かみこゆく生まれうまれなれし竹たけの花はな
- 78、 藤咲ふじざきくや城下じょうげに光ひかりる商店会しょうてんかい
- 79、 若竹わかしづや走り出はしりしたる下校げがうの子こ
- 80、 返信へんしんに添そふる絵文字えもじや薔薇ばらの花はな

- 81、 雨あとの光したたる釣忍 つりしのぶ
- 82、 奥ばかり向いて老舗の蚊遣豚 しにせ か やりぶた あじお
- 83、 海光をとびたつ飛魚や競終る
- 84、 電線のなき街つばめ宙返る
- 85、 青空や光のみこむ鯉のぼり
- 86、 竹の子を焼いて冷酒さあ一献 ひ ややばけ いっこん
- 87、 風光る何時も笑顔でおもてなし いっ
- 88、 星仰ぎちよいと寄道お買物
- 89、 雪降るや光豊かに富士の山 いまふう
- 90、 今風の帯を揺らして浴衣の娘 こ
- 91、 海風も通うみちかな竹の花
- 92、 子らの声みちてあふれて竹の花
- 93、 竹叢が雀のお宿おぼる月 むら
- 94、 横町の漁師ことばや松の花
- 95、 ただずまい霞の奥の竹林か
- 96、 洗い髪きらきら光る髪飾り しんじゅこう
- 97、 新樹光もてなす店主のありどころ は ひあしの
- 98、 山波の美しき姿や日脚伸ぶ しのだけ
- 99、 潮風にさやぐ篠竹利休の忌
- 100、 金次郎像立つ校庭や朝桜

- 101、 竹の花通りで竹絵の扇子せんす買う
- 102、 若葉光シヨウウインドーに未来あり
- 103、 風光る生れ変りし竹の花
- 104、 竹の春どこの御店おたなも賑にぎやかし
あおあらし
- 105、 しなやかにうねる竹林青嵐
- 106、 オオワシやはるか知床あける海
- 107、 十五年振りのダンスや花は葉に
- 108、 金運も生命線も春うらら
- 109、 竹の春みな笑顔にて街栄さかえ
- 110、 家具替えて夫婦ふたりほほ笑む風光る
- 111、 孫と来て花満開の町たのし
- 112、 たんぽぽや初出勤の服光る
- 113、 新しき町に足向く竹の花
- 114、 いつまでも続く商売竹の花
- 115、 竹の花光輝く商店街
ほないかだ
- 116、 お堀端天守へいざなう花筏
はないかだ
- 117、 タケコプター富士箱根伊豆見晴るかす
- 118、 屋車うらと浦あさなみひかの朝波光りあう
- 119、 辞書もくへんぎよへんに遊ぶ木偏魚偏すずめの子

- 120、 竹の花新たな街に風光る
- 121、 みちのくのどんより雲に花あんず
- 122、 形よき七夕竹を選びをり
- 123、 整備さる街路明るき春のいろ
- 124、 店ごとのもてなし嬉し竹の春うれ
- 125、 青天や花と笑顔の商店街せいてん
- 126、 児らゆれて吊橋ゆれて風あおし
- 127、 蜜蜂や炎ゆる花芯に溺れたり
- 128、 竹の花元気あふれる商店会
- 129、 春風につつまれながら登下校
- 130、 花はいざデイランの詩辿る祝日ことばたど きょう
- 131、 はるかぜかそよはなかぜかすずながゆ
- 132、 年増しておかめの桜待ち遠うしとしま
- 133、 明鴉餌を求めて網の端あけがらすえさ あみ はし
- 134、 年ごとにつぼみ増せや街の花むすこ
- 135、 息子植え育てる父やバラの花
- 136、 おぼろ月遠くの鉄輪ひびく庭てつりん にわ
- 137、 朝の庭小鳥の声に奮い立つには ふる

